

平成30年度 事業実施報告書

一般社団法人 北陸地域づくり協会

事業名 (個別メニュー)	砂防防災講演会	事業経緯	継続	実施体制	共催	担当所属	富山支所
事業名 (大項目)	災害に対する安全・安心推進事業	分類名 (中項目)	防災意識醸成活動支援事業			事業区分	講座、セミナー、育成

1. 事業目的

わが国、そして世界で過去に経験したことのない大雨や巨大地震、火山噴火など想定を超える規模での災害が頻発する近年、この先「いつ、どこで発生するかわからない災害」に備える必要がある。

防災に対する意識の変化、砂防事業が暮らしにもたらした効果、日常の暮らしと防災といった防災意識の地域住民への浸透を図るとともに、活動を通じて砂防事業に造詣の深い人材の育成に資する。

2. 事業実施体制

共催: 氷見市、砂防防災講演会実行委員会(以下、構成団体)
 (一社)斜面防災対策技術協会富山支部、NPO法人富山県防災士会、
 (一社)北陸地域づくり協会、立山山麓防災・安全対策協議会、
 NPO法人富山県砂防ボランティア協会、立山・神通砂防スペシャルエンジニア、
 立山砂防女性サロンの会、
 後援: 国土交通省立山砂防事務所、富山県土木部防災課
 協賛: (一社)富山県治水砂防協会、(一社)富山県建設業協会氷見支部、
 (一社)建設コンサルタンツ協会北陸支部、(一社)富山県測量設計業協会、
 立山カルデラ砂防博物館

3. 事業実施概要

■立山カルデラ視察

開催日・参加者: 平成30年8月23日(木) 20名、10月16日(火) 20名
 場所: 立山カルデラ内

■防災講演会in氷見市

日時: 平成30年11月25日(日) 13:15~16:00

場所: 氷見市いきいき元気館

プログラム:

- ▶ 基調講演1「富山県の地震活動と土砂災害について」
竹内 章(富山大学 名誉教授)
- ▶ 基調講演2「最近の土砂災害の実態について」
山口 真司(国土技術政策総合研究所 土砂災害研究部長)
- ▶ 氷見市からの報告
- ▶ 活動報告(NPO法人富山県防災士会)
- ▶ 土砂災害パネル展示

参加者: 約160名

4. 事業実施による効果(評価・貢献度等)

本事業は、土砂災害に関する現状や災害から身を守るための知識や避難行動、また、被災地の現状や復興状況、防災に関するさまざまな情報を提供し、市民の「学ぶ場」としている。

今回の開催地 氷見市では、多くの地域住民が参加し、市の取り組みや災害時の対策への認識、地域が主役の防災に向けた取り組みについての理解を深めるとともに、痛ましい災害現場の被災状況や復旧活動など災害現場の現実を知ること、防災への心構えを新たにすることができた。

土砂災害について、砂防について、防災について、今後も広く市民や地域に理解され安全・安心の地域づくりにつながる効果が期待できる。

防災講演会



立山カルデラ視

8月23



10月16

